神奈川県

地域の緩やかなつながり・見守りづくり情報交換会

ずっとここにいたい、と思える拠点づくり

多世代共創拠点
「希望が丘チャレンジベース」現地視察会

～多世代交流と見守り機能をそなえた居場所を見る～

孤独・孤立を防ぐ鍵は、日常の関わりにあるのではないでしょうか。この秋、学生と地域住民が連携して立ち上げた「希望が丘チャレンジベース」は、日替わり店主のまちのカフェや本屋、地域の作り手と出会える小箱ショップ、中高生が集う交流スペースなど、誰もが気軽に一歩を踏み出せる仕掛けが満載の多世代交流拠点です。
「ここに来たら何かが始まる」と感じられる居場所として生まれたこの場が、結果としていかにして孤独・孤立を防ぎ、ゆるやかな見守りと顔の見える関係を紡ぎ出しているのか。オープンしたばかりの現場と「まちのコンシェルジュ」の役割から、これからの地域共生と居場所づくりのヒントを学びます。

日　時　令和8年 12月4日（金）14:30～16:30

場　所　希望が丘チャレンジベース
横浜市旭区中希望が丘101-1　相鉄線 希望ケ丘駅から徒歩30秒

定　員　30名（先着順）

参加費　無料

ナビゲーター　立ち上げメンバー
五味 真紀 氏
大石 ゆき 氏



お申し込みはこちらの二次元バーコードから ▶▶▶▶▶

※定員になり次第、締切とさせていただきます

問い合わせ
事務局（株式会社タウンニュース社企画営業部内）
0120-192-389　受付：平日 10 時～17 時　kikaku-e@townnews.jp

※当情報交換会は、神奈川県（生活援護課）からの委託により運営しております。